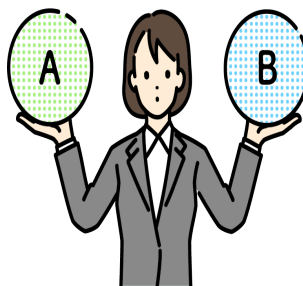


第7学年 学年だより

個を**活**かし
集団を**生**きる



令和6年11月22日(金)

板橋区立板橋第三中学校

第7学年だより 第26号

個と集団の関係性～頑張る人たち～

毎週学年だよりを楽しみにしていただいている皆さん、先週は申し訳ありませんでした。決して学年だよりの重要度が低いというわけではありませんが、喫緊で取り組まなければならないことが多く間に合いませんでした。

必ず一週間に一度、出さなくてはならないものではありませんが毎週続けているものが途切れてしまうというのは、なんともいい難いものがあります。

定期考査が終わった今、今回の学年だよりでは改めて「**個と集団**」について考えてみようと思います。

突然ですが皆さんは、学年のフロアの窓は誰が開けていると思いますか？恐らく知らない人が多いのではないかと思います。

実は、教員だけで開けているわけではありません。ある生徒が朝早いタイミングで登校して開けてくれているのです。私たちが「窓を開けるために早く登校してほしい」とお願いをしたわけではありません。さらに、その人たちは「私が朝、窓を開けている」と誰かに話したりもしていないようです。

誰かに認めてもらうためではなく、自分で行動している。それが、集団で過ごすことに役立っている状態だと思います。考えてみると、こういった行動は大人になればできるというものではなく、今の私自身にも難しいことだと思っています。年齢に関係なく、尊敬できるなと思います。

こういった人が増えていけば、きっと相乗効果が働き、よりよい環境が出来上がっていくのではないかと思います。

一方でここ最近の様子をみて、悲しいなと思うこともあります。休み時間になると廊下を走り回る人も、まだいます。毎日のように声をかけているけれど、自分の楽しさを優先して行動する人も少なくありません。「赤信号 みんなで渡れば 怖くない」ではないですが、他の人といると気が大きくなるのでしょうか。一人の行動が、集団の雰囲気壊してしまうような場面も見受けられるのは、事実です。

さて、皆さんも考えてみてください。「**集団とは何か**」ということ。

集団とは、「ただそこに人が集まっている」というものではないように感じます。辞書の上では、「**個が集まって団体を作ること**」とあります。団体とは、「**何人もの人が共通の目的をもって集まったもの**」とあります。同じ目的に向けて行動するためには、同じ方向を全員で向いていなければなりません。自分だけがよければ他はどうでもいい、という自分勝手に横行するようでは集団としては未熟です。

自由と自分勝手との違いにまで言及すると、いささかスペースが足りませんので割愛しますが、その点についても熟考する必要があるでしょう。いずれ皆さんに、考えてもらうこともあるかもしれません。

私は学校で生活する7年生の集団を、個が乱すようなことはあってほしいと思っていません。むしろ、個が育つ中で、それぞれの行動が集団に役立って、全員でハッピーになってほしいと思っています。

誰かのために行動せよ、とまでは言いませんし、そこまでのことを強要することもできないと私は思っています。それでも、社会という集団は一人一人の成熟した個が集まることで成り立っていることは知ってほしいと思い、とある生徒の良い行動を紹介させていただきました。

皆さんの学校生活が、よりハッピーなものになるために、個の成長、個の確立、個の力の発揮をしてください。そして、集団で生活しているからこそ発揮できる力を見せてください。改めて、「**集団と個**」について考え直す一助となれば幸いです。

来週以降の予定！来週も頑張ろう！

	1校時	2校時	3校時	4校時	給食	5校時	6校時	備 考	下校予定時刻
25日(月)	道	②	③	④	○	⑤	総		15:50
26日(火)	①	②	③	④	○	⑤	⑥	RSタイム	15:50
27日(水)	①	②	③	④	○	⑤	/	校内研修会 部活動再登校16:00～	14:50
28日(木)	①	②	③	④	○	⑤	総	RSタイム	15:50
29日(金)	①	②	③	④	○	⑤	学		15:50

保護者の皆様より ～ご協力ありがとうございます～

気づけばあっという間に期末考査ですね。文化祭がもうずいぶん前の事のようにも思えますが、生徒の皆さんの作文を微笑ましく読ませていただきました。どの生徒もどのクラスもみんなそれぞれの思いやドラマがありましたね。「お互いに認め合える、楽しく協力できる、メリハリのつけた合唱練習」を赤学年の文化祭の合言葉のように感じました。

1組の皆さんが「先生を泣かせる」という目標、本番の時に緊張した様子、そして終わってから他のクラスの友達から「声、よく聞こえたよ!」、「先生が少し泣いてたよ!」と言われ、素直に喜べる姿・・・等々かわいいなと、私も思わず笑顔になりました。

また、総合の授業では、7学年の時点で「キャリア学習」というステキな取り組みにありがたい限りです。

これからも沢山の事をみんなで共有・経験しながら、ぐんぐん前へと進んでいけたらと思っています。

→ご返信ありがとうございます。文化祭は、本番だけでなくそこに至る過程でも、各クラスでいろいろなことがありました。良いことも、悩んだりぶつかったりしたことも含め、成長だと思っていますし、よく頑張ってくれたと思います。

キャリア教育については、東京タワーの明かりである航空障害灯を交換する仕事をしている方の話を取り上げて、働く意義について考えたり、「大人になったらなりたいもの」ランキングや、職業選択の際に意識すべきポイントなどを踏まえて「13歳のハローワーク公式サイト」を利用して自分の適性を調べたりしました。今後、自分の適性にあっていると紹介された職業や、自分の興味のある職業について調べ、新聞を作成していく予定です。未来を意識しながら今できること、これからどんなことをしていかなければいけないか、など、職業について詳しく学ぶことだけでなく、自分の生き方について考え、行動していく機会になってほしいと考えております。

